

今日のお知らせ

本日20時～
CareNeTV LIVE



エムポックスに
備えよう！
11/20 20:00～

今日の臨床〇×クイズ

救急救命士は厚生労働大臣の免許を受けた資格である。



クイズにチャレンジする

ケアネットライブ配信予定



Dr.長尾の
ナースのための
胸部X線クイズ
11/26 20:00～

CareNeTV 無料配信中



首にまつわる疾患①

医師人気ランキング

週間

月間



高齢者の認知症予防に最も有用な野菜の種類は？
1 医療一般



インフル・コロナワクチン接種、同時vs.順次で副反応に差はあるか
2 医療一般



腸閉塞とイレウスの違いは？
一目でわかる診療ビデオアフター
3



EPA製剤など、重大な副作用に「心房細動、心房粗動」追加/厚...
4 医療一般



日本の新型コロナワクチン接種意向、アジア5地域で最低/モデ...
5 医療一般



50歳を過ぎたら30秒間片足立ちできるかが老化の指標に？
6 医療一般



家庭内のインフル予防、手指衛生やマスクは効果ある？～メタ...
7 医療一般



“猛毒”で致死性不整脈、原因の食べ物は？
見分け方は？
これって「食」中毒？
8



大腸がん検診、現時点では血液検査よりも大腸内視鏡検査が優れた
9 医療一般



ワルファリンはこうして誕生した
臨床力に差がつく 医療トリビア
10



家庭内のインフル予防、手指衛生やマスクは効果ある？～メタ解析

提供元：ケアネット



ポスト

いいね！ 15

公開日：2024/11/22

インフルエンザの感染対策では、手指衛生やマスク着用などの非薬物介入が推奨されることが多いが、家庭における対策は比較的研究が進んでいない分野である。今回、中国・香港大学のJessica Y. Wong氏によるシステマティックレビューおよびメタ解析により、非薬物介入は家庭内感染には影響を及ぼさなかったことが明らかになった。International Journal of Infectious Diseases誌オンライン版2024年11月4日号掲載の報告。



インフルエンザウイルス感染は、主に人と人との濃厚接触によって広がり、伝播の多い環境の1つが家庭である。そのため、家庭内で実施可能な非薬物介入はインフルエンザの制御において重要な役割を果たす可能性がある。そこで研究グループは、多くの国で推奨されている9つの非薬物介入（手指衛生、咳エチケット、マスク、フェイスシールド、表面の清掃、換気、加湿、感染者の隔離、物理的距離の確保）が家庭内のインフルエンザ感染予防として有効かどうかを評価するために調査を実施した。

2022年5月26日～8月30日にMedline、PubMed、EMBASE、CENTRALを検索してシステマティックレビューを実施した。「家庭」は血縁に関係なく2人以上で暮らしている集団とし、学生寮や老人ホームなどで実施された研究は除外した。メタ解析では、非薬物介入の有効性のリスク比（RR）と95%信頼区間（CI）を算出した。全体的な効果は、固定効果モデルを使用したプール解析で推定した。

主な結果は以下のとおり。

- ・手指衛生については、5,118例の参加者を対象とした7件のランダム化比較試験を特定し、そのうち6件をメタ解析に含めた。マスク着用については、4,247例の参加者を対象とした7件のランダム化比較試験を特定してメタ解析に含めた。
- ・手指衛生はインフルエンザの家庭内感染に有意な予防効果をもたらさなかった（RR：1.07、95%CI：0.85～1.35、p=0.58、I²=48%）。
- ・マスク着用は家庭内感染予防に効果がある可能性があるものの、統計的に有意ではなかった（RR：0.59、95%CI：0.32～1.10、p=0.10、I²=16%）。
- ・手指衛生とマスクの併用でも、統計的に有意な家庭内感染の減少は認められなかった（RR：0.97、95%CI：0.77～1.22、p=0.24、I²=28%）。
- ・プール解析でも、手指衛生やマスク着用が家庭内感染に有意な効果をもたらすことは確認されなかった。
- ・初発患者の症状発現早期に手指衛生やマスク着用を開始することは、家庭内における感染予防に効果的である可能性が示唆された。
- ・上記以外の7つの非薬物介入の有効性に関する公表されたランダム化比較試験は確認されなかった。

これらの結果より、研究グループは「家庭内でのインフルエンザ感染を制御するための個人防護策、環境対策、病人の隔離または物理的距離の確保が大きな予防効果を持つことを裏付けるエビデンスは限られていたが、これらの対策はインフルエンザの人から人への感染に関するメカニズムとして妥当性がある。インフルエンザの感染に関する今後の調査は、家庭内感染に対するガイドラインやエビデンスに基づく推奨事項を準備するうえで役立つだろう」とまとめた。

（ケアネット 森）

原著論文はこちら

Medical Gateway

！未閲覧があります
情報チェックでアップ獲得チャンス！

未閲覧

eディテリング

動画やスライドで効率的に医薬品情報を収集



こんな2型糖尿病のある方、いらっしゃいます...

100 up



【ロケルマの臨床試験】
HARMONIZE Global試験
07:10

未視聴



アレルギー性鼻炎における朝の症状とルバフィ...

100 up



はたらく細胞 mRNAワクチン特別編 第3話 mRNA...

100 up

もっと見る

おすすめ期間中のすべてのeディテリングを視聴するとコンプアップ20upが獲得可能！

！ まだコンプアップを獲得できません

予約可能なWeb講演会



GSK Asthma Advanced Inhaled Treatment National Conference ～日常診...
11/24（日）09:30～配信

未予約

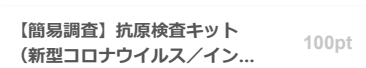


GIP/GLP-1受容体作動薬のポジショニング
11/25（月）12:20～配信

60 up

もっと見る

新着アンケート



【簡易調査】抗原検査キット（新型コロナウイルス/イン...

100pt

プライマリケアの疑問
Dr.前野の
スペシャリストにQ
皮膚科編

CareNeTV

番組視聴はコチラ

掲載内容はクアネットの見解を述べるものではありません。（すべての写真・図表等の無断転載を禁じます。）

関連記事



わが国初の経鼻弱毒生インフルワクチン「フルミスト点鼻液」【最新！DI情報】第24回
最新！DI情報（2024/10/01）

インフルワクチンがCVD患者の予後を改善～メタ解析
医療一般（2024/09/30）

第113回 経鼻インフルワクチン「フルミスト」を使いますか？
現場から木曜日（2024/09/12）

 視聴されていないコンテンツがあります

[このページを印刷する](#)

[ポスト](#)

[いいね！ 15](#)

最新ニュース

前糖尿病の肥満へのチルゼパチド、糖尿病発症リスク93%減／NEJM
(2024/11/22)

生後2年間のデジタル介入で肥満リスク低下／JAMA
(2024/11/22)

BRCA1/2病的バリエント保持者における乳がん後の二次原発がんリスク／JCO
(2024/11/22)

統合失調症患者に対する抗精神病薬の投与経路変更の影響は～メタ解析
(2024/11/22)

「週末戦士」でも脳の健康に利点あり
(2024/11/22)

減量薬のアクセス拡大が年4万人以上の米国人の命を救う可能性
(2024/11/22)

抗てんかん薬の早期処方が認知症リスクの低さと関連
(2024/11/22)

今すぐ視聴する

専門医が選んでコメント

がんの論文・ニュース



Doctors' Picks

医師紹介キャンペーン

1,000pt





紹介はかんたん！

詳細はこちら